

謝辞

筆者の公務員人生のスタートは法令検索から始まった。関係省庁からの引用法令照会に答える作業から始まり、法令作成の実務にあたり前例記述の検索作業等に忙殺されたことを思い出す。今日ではインターネットの発達はその単純な作業からの開放を可能とした。本論文の作成に当たっても、IT 基本法の指針性のもと電子政策が推進され、自宅にいながらハイスピードでの法令、議事録検索が可能となった。e-Japan 戦略等の IT 政策の便益を享受することができたわけである。

本研究論文の作成に当たっては多くの方々のご指導とご支援を受けさせていただいた。立教大学講師(観光政策・行政論)として立教大学図書館等を、日本観光戦略研究所理事として国会図書館等の諸機能を活用させていただいたことにも感謝しなければならない。

溝尾良隆教授、安島博幸教授、松本和幸教授をはじめとした立教大学観光学部及び磯部力法学部教授等の諸先輩にご指導いただいたこと、伊藤達雄名古屋産業大学名誉学長に研究論文作成の意思と機会を与えていただいたこと、筆者が奉職する高崎経済大学に本論文出版の機会を与えていただいたことを特記し感謝する次第である。

最後に、本論文作成の最終段階の 2007 年 4 月 13 日、「真夜さめて 病床にきく 冬の雨土にかへらむ もののやさしき」を残して旅立った母・寺前昭子に本論文をささげるものである。

2007 年 10 月
寺前 秀一